



## 機能の概要

SAP Ariba の契約ワークスペースから SAP® Ariba ソリューション向け Icertis Contract Intelligence にアクセスして契約ドキュメントを作成および更新する機能 - SC-16239

一般提供予定: 2022 年 9 月

# 契約編成のためにクラス最高の契約ライフサイクル管理とスPENDマネジメントソリューションを連携

## 説明

- この機能により、SAP Ariba ソリューション向け Icertis Contract Intelligence と統合された SAP Ariba Contracts を使用するバイヤーは、ICI インターフェイスを使用して、契約ドキュメントを作成および更新することができます。また、この機能により、契約ワークスペースのレコードをリンクした後、ICI インターフェイスと SAP Ariba Contracts の間をシームレスに移動することができます。さらに、Icertis の各機能に登録している場合は、Icertis の人工知能 (AI) 機能を使用して、契約の組み立て、確認、および交渉を行うことができます。
- SAP Ariba Contracts バイヤーは、契約ワークスペースを直接、またはソーシング落札や契約申請から作成および公開することができます。ICI では、ヘッダー情報、取引条件、および明細などのワークスペースレコードを使用して、ICI インターフェイスで契約を作成します。組み立て、確認、承認、および署名 (任意、SAP Ariba Contracts または ICI インターフェイスで実行) の各タスクは、ICI インターフェイスで実行します。契約の状況が [実行済み] になると、SAP Ariba Contracts に返送されます。

## メリット

- Ariba Contracts が新たに ICI プラットフォームとシームレスに統合されたことで、バイヤーは以下を実行することができます。
  - 契約ドキュメントをリアルタイムで作成する。
  - Microsoft Word Online Editing、Microsoft Teams Experience Advanced Redline 追跡を使用して、強力な交渉およびコラボレーションを活用する。

## ユーザー

- バイヤー

## イネーブルメントモデル

- Ariba: お客様が設定
- Icertis: Icertis サービスチームから要請

## 対象ソリューション:

- Ariba Contracts
- Icertis の ICI プラットフォーム

# 前提条件 – 1

## SAP Ariba の設定

- SAP Ariba Contracts または SAP Ariba Strategic Sourcing Suite の有効なライセンスを持っていることを確認します。
- SAP Ariba ソリューション向け Icertis Contract Intelligence の有効な登録、および統合ソリューションで使用する追加の Icertis 機能があることを確認します。
- ICI インターフェイスにアクセスするには、契約オーナー (第 1 オーナー) であるか、契約オーナーによって権限が付与されたユーザー (第 2 オーナー) である必要があります。
- レルム設定 (新規顧客の場合)
- 必要に応じて、CLM 固有のデータロード (地域/商品分類/部門)
- ユーザー設定 (MDS User Entity Open API を使用した Icertis への追加)
- SSO の有効化 (IdP 経由、SAP IAS またはサードパーティの IdP を使用するため)
- サプライヤ設定 (MDS Organization Entity Open API を使用した Icertis への追加)
- **ICM から、SAP Ariba Contracts で以下のパラメータを有効化する必要があります。**
  - Application.ACM.IcertisIntegration
  - Application.ACM.IcertisHostname
  - Application.ACM.IcertisIdPSelection
  - Application.ACM.UpdateLastModifiedDateOnContractStatusChange
- 契約ワークスペーステンプレートの [チーム] セクションに「ICI ユーザー」という名前のグループを追加する必要があります。このグループは、Icertis 上に追加されたユーザー/オブザーバ/署名者を公開するために Icertis によって使用されます。

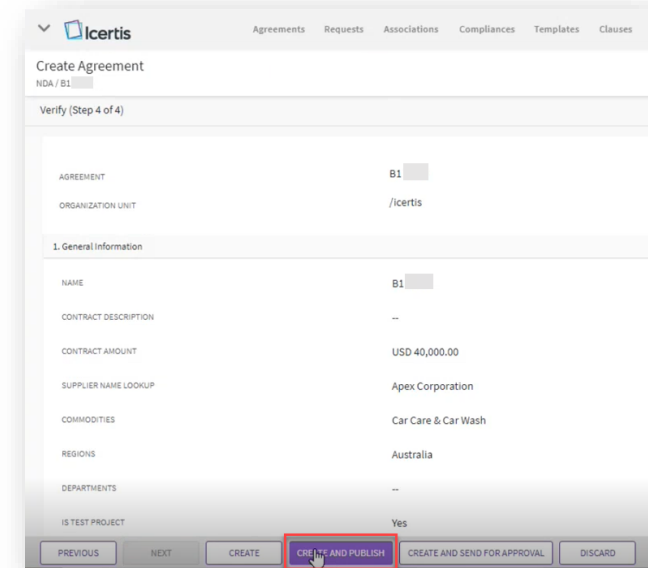
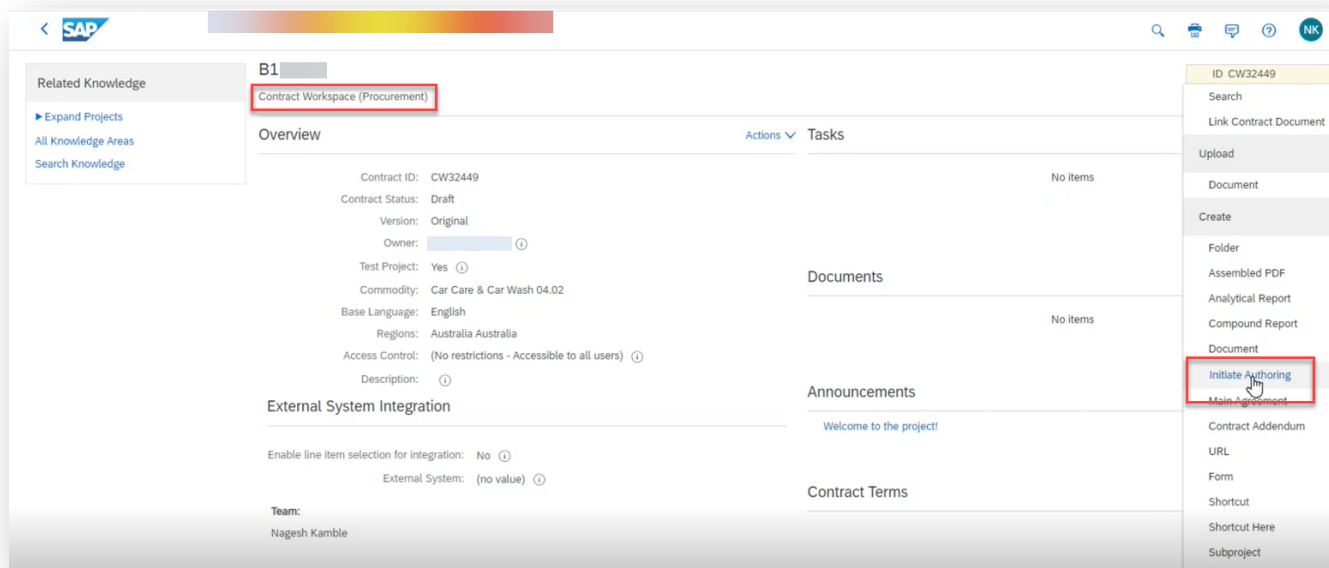
## 前提条件 – 2

# SAP Ariba の設定

- Open API によるバックエンドデータ統合。そのため、対応する Open API を設定する必要があります。
- API キー (「Customer (顧客)」または「Any Customer Partners (任意の顧客パートナー)」) を作成および設定する必要があります。
- API 設定のため、OAuth ClientId/Secret/API キーを Icertis と共有する必要があります。
- 以下の Ariba Open API を設定する必要があります。
  - Contract Workspace Retrieval API
  - Contract Workspace Modification API
  - Contract Line Item Document Retrieval API
  - Contract Line Item Document Download API
  - Project Document Management Retrieval API
  - Project Document Management Download API
  - Project Document Management Creation API
  - Project Document Management Modification API
  - Project Document Management State Change API
  - Team Management API
  - Sourcing 用 Master Data Retrieval API

# 機能の詳細

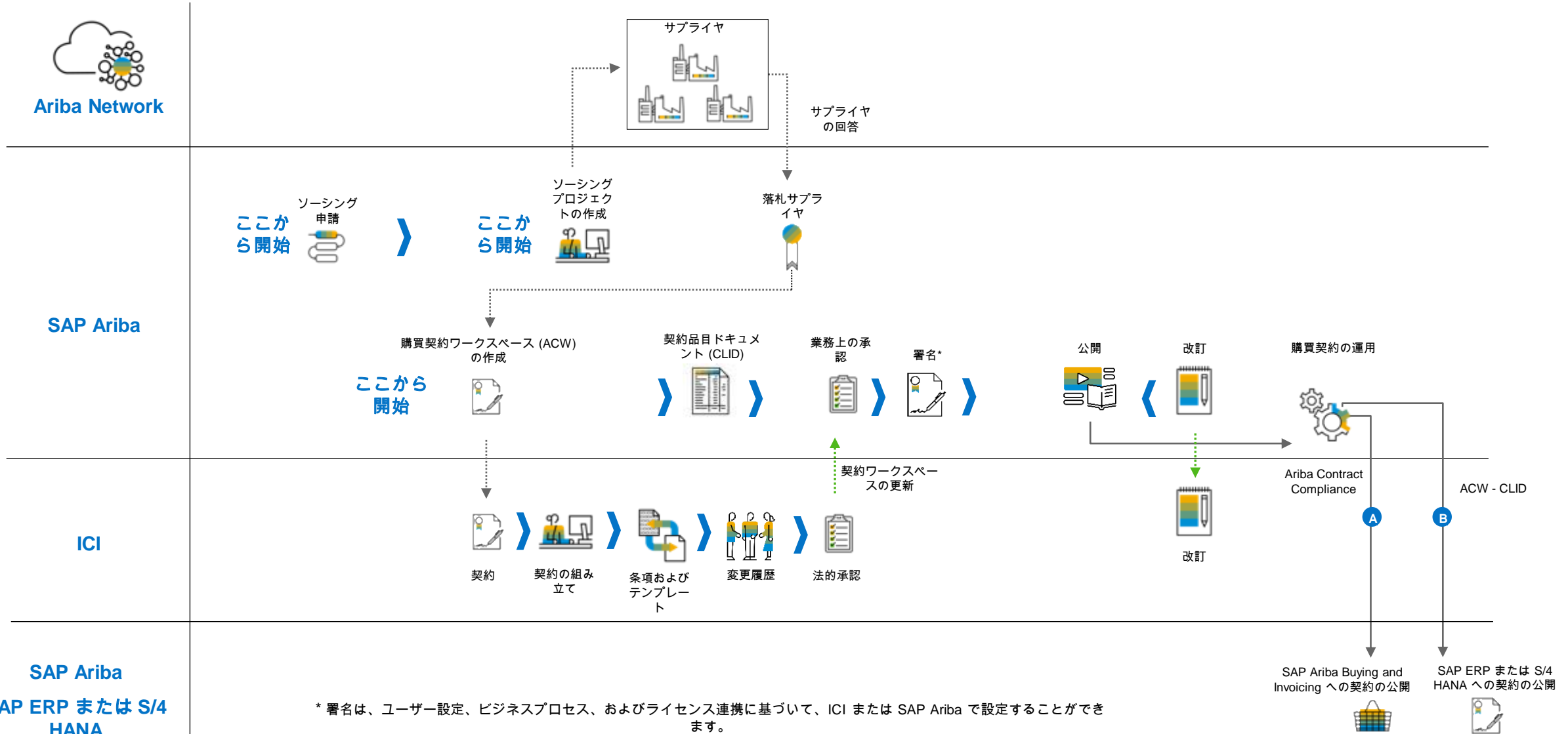
- Ariba 契約ワークスペースは、契約の開始点として機能します。Ariba 契約ワークスペースは、ソーシング落札または契約申請から作成するか、単独で作成することができます。
- ICI 契約は、インターフェイスにより、このような契約ワークスペースレコードに対して自動的に作成されます。ヘッダー情報、取引条件、明細などの重要な情報が複製されます。
- 契約の組み立て、確認、承認、および署名 (任意) は、ICI で実行されます。顧客の設定に基づいて、署名の設定は、Ariba からまたは ICI から開始することができます。契約が確定されるか (SAP Ariba での署名)、またはすべての当事者が契約に署名すると (Icertis での署名)、データが Ariba 契約ワークスペースに返送されます。
- 契約は、公開/実行することができ、更新が必要な場合は SAP Ariba から改訂することができます。



# SAP Ariba と Icertis の統合フロー

## 契約編成のための統合

2022年9月



\* 署名は、ユーザー設定、ビジネスプロセス、およびライセンス連携に基づいて、ICI または SAP Ariba で設定することができます。

# ユーザーの事例

1. 契約担当者が、Ariba で、必要なすべての情報を入力し、テンプレートを選択して、契約ワークスペースを作成します。ユーザーは [ドキュメント] タブに移動して、[アップロード] ではなく [編成を開始] を選択します。
2. ユーザーが Icertis の契約作成画面に移動します。ここでユーザーは、[Own Paper (自分の文書)] を選択し、手順 (作成ウィザード) を実行して基本情報を検証します。
3. Icertis で契約を保存すると、SAP Ariba 側で [外部契約参照] が更新され、ユーザーナビゲーションのリンクが作成されます。
4. ユーザーが手順を完了すると、組み立て (Icertis の条項およびテンプレートを使用) が開始されます。いずれの時点でも、「組み立て」処理によって最新情報が取得されます。
5. 確認、交渉、法的承認などの後続の手順は、ICI フレームワークを使用して実行します。ユーザーは、ICI プラットフォームから通知を受信し、プラットフォームでタスクを実行することもできます。
6. 法的承認が実行されると、契約ドキュメントの状況が編集不可になります。
7. 契約ワークスペースヘッダーの一部として、Icertis の契約状況が表示されます。
8. これにより、SAP Ariba がトリガされ、後続の手順に進みます。
9. サードパーティの署名ツールとの統合の有無に関係なく、SAP Ariba または ICI で署名が実行されます。
10. 署名状況がシステムで更新され、ほかのシステムと同期されます。また、署名されたドキュメントバージョンが提供され、状況が [実行済み] になります。

ありがとうございました。



フォローをお願いします。



## [www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、[www.sap.com/trademark](http://www.sap.com/trademark) をご覧ください。